

座頭市、共産主義に出会う!? シリーズ屈指の異色作。

クラシック・シネマ

『座頭市 牢破り』

勝新太郎が自らのプロダクション旗揚げで作ったシリーズ第16作。物語の核は権力の横暴に平和主義と共産主義を標榜する侍に率いられた農民の抵抗。そんな通り一遍の時代劇とは違う味付けが本作の特徴。前半と後半でがらりと変わる三國連太郎にはビックリです！

人情は紙風船の如し…。 日本映画史上に残る大傑作！

クラシック・シネマ

『人情紙風船』

戦争で夭折した天才監督・山中貞雄の代表作。歌舞伎を基に一分の隙もない構成で、人の運命の哀しさを見つめ、余韻溢れる感動を生みます。個々の登場人物のエピソードが輪のように繋がるラストは残酷でありながら、ある種の爽快。一人でも多くの人に観ていただきたい傑作！

憎いけれども別れられない。母と娘の半世紀。 昭和の名匠・木下恵介の頂点！

クラシック・シネマ

『香華』

遊郭、花柳界を舞台に母と娘の愛憎の半世紀を悠々3時間21分、緩急自在の演出で一時も飽きさせない昭和の名匠・木下恵介の傑作メロドラマ。細部まで手を抜かない数々の大セットで繰り広げられるのは、岡田茉莉子と乙羽信子の演技合戦。二人の口喧嘩は映画の演技の見本！

目も覚めるような総天然色。日本最初の カラー画面に高峰秀子の太股が跳ねる！

クラシック・シネマ

『カルメン故郷に帰る』

不世出の天才監督・木下恵介が挑んだ日本最初の総天然色映画。浅間山麓オールロケによる景観は構図・色彩とも絶品。その映像の中でストリッパーの高峰秀子&小林トシ子が歌い踊るシーンの底抜けの明るさは日本映画史に残ります。

傾き続ける画面！木下恵介の才気が 大暴走するカルメンシリーズ第2作

クラシック・シネマ

『カルメン純情す』

ほぼ全編傾きっぱなしの構図は狂騒的！高峰秀子は芸術家気取りのストリッパーを十八番の巻舌口調で好演。しかし彼女以上に印象強烈なのは明治生まれの名性格女優・三好栄子と東山千栄子。前作に比べるとシミジミとした作品になっています。